



ここに注目!!

庫内を両サイドから照らすLEDが装備され、ライトアップ効果だけでなくボトルを探し出すのも容易になった

左から、左開きガラス扉の『ST-308GL (WK) 』(w595 × d575 × h1760mm、90本収納)、観音開きガラス扉の『ST-408FG II (WK) 』(w750 × d575 × h1760mm、120本収納)、右開きガラス扉の『ST-308G (WK) 』(w595 × d575 × h1760mm、90本収納)。高さが統一されているため、複数台を家具のように横並びで使用してもディスプレイ効果が高まる。各オーブン価格

ソムリエをはじめプロから愛され続ける
日本製ワインセラー

LongFresh®

『ロングフレッシュ』は
ココがさすが!

静音、省エネ、扉の機能性。
細部へのこだわりが素晴らしい!



近藤氏

メイド・イン・ジャパンの『ロングフレッシュ』のブランドイメージの名に恥じない、今回の新機種のかゆいところにまで手が届く細やかな設計には驚きました。

日本製ならではのクオリティと
迅速なアフターケアは安心!



岩田氏

日本人ならではの知恵が詰まった、日本のメーカーによる日本製ワインセラー。クオリティと機能性に加え、迅速に対応してもらえるアフターサービス。その信頼は揺るぎません。

近藤 「銀座レカン」ではコンプレッサーの音はもちろん、セラーのドアの開閉音にも相当気を遣っているんです。お客様も相応の緊張感を持つてお食事をされていますし、非現実感を演出するためにはロック式のボールペンの音もNG。ペルチェ式のセラーだと静かだと聞きますが、コンプレッサーの大型セラーで音が静かなのはとてもいいですね。

諸澤 「ロングフレッシュ」の現行モデルはオートクローズヒンジになっていて、扉をある程度閉めたところで手を離すと……ほら、扉が自動的にすっと閉まるんですよ。

近藤 おく!これは素晴らしい機能ですね!

諸澤 加えて今回の新機種では、従来機種のように庫内上部ではなく、手前両サイドに大型LED照明を配置し、ワインボトルをより美しく見せることができるようになりました。ラックの傾斜も2〜20度の間で9段階で変えられます。

なったりするんですよ……。

インバーターコンプレッサーと
両サイドLEDを採用

諸澤 そこで!今回の一番の特徴であるインバーターコンプレッサーの話になるのですが、インバーターとはひと

言で言うとは、オンとオフの切り替えを繰り返すのではなく、庫内が冷え設定温度に近くなつてくるとゆるやかに運転する省エネモードと考えると

ください。

近藤 「銀座レカン」ではコンプレッサーの音はもちろ

閉音にも相当気を遣っているんです。お客様も相応の緊張感を持つてお食事をされていますし、非現実感を演出するためにはロック式のボールペンの音もNG。ペルチェ式のセラーだと静かだと聞きますが、コンプレッサーの大型セラーで音が静かなのはとてもいいですね。

諸澤 「ロングフレッシュ」の現行モデルはオートクローズヒンジになっていて、扉をある程度閉めたところで手を離すと……ほら、扉が自動的にすっと閉まるんですよ。

近藤 おく!これは素晴らしい機能ですね!

諸澤 加えて今回の新機種では、従来機種のように庫内上部ではなく、手前両サイドに大型LED照明を配置し、ワインボトルをより美しく見せることができるようになりました。ラックの傾斜も2〜20度の間で9段階で変えられます。

岩田 とくに奥と手前の二列にワインボトルを収納するタイプのワインセラーは、LEDが上だと上段のほうしかボトルのエチケットが見えなくて、ペンライトで探し出すしかないんです。でもこの新しい「ロングフレッシュ」なら横から光が入りますから、ワインのオーダーが入って、扉を開けるまでもなくどこに何があるかわかりますね。演出効果だけでなく、機能性という点からも非常にありがたいですね。

* 銅板扉タイプの『ST-408』、『ST-408L』を除く。

text by Ryo TAMURA
photographs by Kentaro TAKIOKA



forsterjapan

若手ソムリエが見て、触れて、語る!

フォルスタージャパンの
新製品をチェック!

Guest Sommelier

岩田 渉氏

「第5回JSAソムリエ・スカラシップ」優秀賞、「ニュージーランドグローヴス賞」「シャブリ賞」、「第8回JSA全日本最優秀ソムリエコンクール」優勝、「第4回ASIアジア・オセアニア最優秀ソムリエコンクール」優勝。2019年「第16回ASI世界最優秀ソムリエコンクール」入賞

近藤 佑哉氏

「銀座レカン」ソムリエ。2017年、第6回JSAソムリエスカラシップ シャブリ賞。18年、インターナショナルASIソムリエ取得、「第7回JSAソムリエ・スカラシップ」優秀賞。「第2回ボメリー・ソムリエコンクール2019年」優勝、「第3回ボルドー&ボルドー・シュベリユールワイン ソムリエコンクール」優勝

Navigator

諸澤 光治氏

「双日マシナリー(株)」
フォルスタージャパン シニアソムリエ

『ロングフレッシュ』の
新機種について知ろう!

安定した温度・湿度管理で定評のあるフォルスタージャパンの「ロングフレッシュ」に、シリーズ初のインバーターコンプレッサー搭載モデルが登場。その機能性に迫る。

クオリティもアフターケアも。
ジャパンメイドの誇り

——今日はフォルスタージャパンの諸澤さんに、「ロングフレッシュ」の新製品について教えていただきます。

諸澤 「ロングフレッシュ」初のインバーターコンプレッサー採用のワインセラー『ST-408(WK)』と『ST-308(WK)』の2機種7型式が7月に発売になりました。フォルスタージャパンの最上位シリーズ「ロングフレッシュ」は、すべて日本製です。

近藤 上司やその知り合いのソムリエたちもみな、家に置いているのはメイド・イン・ジャパンの「ロングフレッシュ」なんです。物持ちの良さはもちろん、修理が生じた時の対応が迅速だと口を揃えますね。

岩田 ワインセラーって、そんな壊れやすいものなんですか!?いきなり不安になってきました(笑)。

諸澤 ワインセラーも機械ですから経年劣化はあります。ただフォルスタージャパンでは、業務委託した修理会社が全国に70カ所以上ある上に、機能部品の保有期間は製造打ち切り後9年間という長さです。

近藤 とくに夏場は大事なワインを入れたセラーが壊れた場合、すぐに

直してもらえないと不安ですからね。

ワインケース10ケース分が
コンパクトなボディに収まる!

諸澤 今回、従来機種同様の120本収容モデルに加え、新たに横並びで複数台配置することも想定した90本収容モデルを発売しました。他社さんのセラーに比べ、いずれも奥行きが575ミリと薄いのが特徴です。120本というのは、ワイン10ケース分。ケースで積んだら山になってしましますが、それがこのコンパクトなボディに収納できるのです。

岩田 なるほど!私が新機種を拝見して一番いいなと思ったのは、この観音式ガラス扉の『ST-408FG II (WK)』です。以前、京都の小さなワインバーで働いていたのですが、セラーがバックカウンターに置いてあつて、狭いカウンター内での開閉にとっても苦勞しました。これなら開閉スペースが半分で済みますね。京都は店の箱自体が小さいところが多いので、限られたスペースでいかにたくさんのワインが収納できるかがポイントになります。

近藤 うちはレストランですが、ワインセラーと客席との距離が近く、コンプレッサーの駆動音がけっこう気に

あなたにピッタリのセラーはコレ！

ワインセラー選びはプロのソムリエでも迷うもの。フォルスタージャパンの諸澤氏に、ソムリエのお2人の要望にピッタリのワインセラーを豊富な新商品群の中からお勧めいただいた。

フォルスタージャパンのHPでもチェックできます。

私にお任せください！



答える人
諸澤光治氏



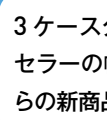
相談する人
岩田渉氏

ワインの勉強用に自宅にセラーをもう一台買いたいんですが。

仕事から家に帰ってすぐトレーニングを始めるのなら、今回発売した2温度タイプワインセラーだと、貯蔵温度と白用の飲みごろ温度……といったように、二部屋それぞれの温度を変えて貯蔵できるんです。



それはありがたい！長期貯蔵よりも、3ケース分くらいの本数を適正な環境に一定期間置いておけばいいのですが、省スペースでデザインもよくないと、うちの妻が……。

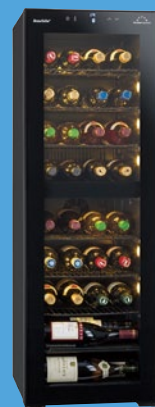


3ケース分くらいの本数を収容するためには、セラーの幅をとるか高さをとるかですが、こちらの新商品は縦長のスリムなデザインなのです。



この縦長フォルムは従来にない感じでカッコいいですね！これならうちの妻もきっとOKです！

棚も少しだけ引き出せるので便利です。これならご自宅のセカンドセラーとしてご活用いただけると思います。



34本収納の2温度タイプワインセラー
幅40センチのスリムタイプ
『ホームセラー FJH-108GD(BK)』



HomeCellar



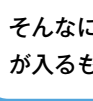
収容本数とデザインに優れた店用のセラーは何がいいでしょう？



相談する人
近藤佑哉氏



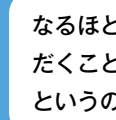
レストランの設置場所にはゆとりがありますか？



そんなに広くはないのですが、セラーは本数が入るものが欲しいですね。



狭い通路や客席に近いところに置くと、薄型でも収容力があり、観音開きのタイプがお勧めですね。



なるほど。お客様に実際にセラーを見ていただくことで、ワインのオーダーにつなげたいというのがあります。



庫内LED灯を両サイドに配置した『ロングフレッシュ』の新商品なら、演出性という点でも効果があるのではないのでしょうか。

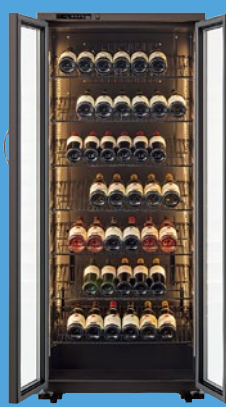


インバーターコンプレッサー
採用で省エネ性に優れた
観音開きドアタイプ

『ロングフレッシュ
ST-408FG II (WK)』



LongFresh



Ⅱ

家庭でもフォルスター・クオリティを『ホームセラー』が愛される理由とは？

プロのソムリエたちの間でも自宅で愛用している人が多いという『ホームセラー』。豊かなワインライフを手軽に送るための秘訣について、二者が引き続き議論する。

ワインセラーがあれば、家飲みも優雅に

——次はソムリエのお二人の家飲みについて伺てみたいと思います。

岩田 私は初めて買ったフォルスタージャパンの『カジュアル・プラス』ほか3台を自宅に使っています。

近藤 私は職場の先輩のお下がりでした。小さいセラーを1台使っています。

諸澤 フォルスターのワインセラーは、実はマーケット的には家庭用のほうが主になってきているんです。ワイン愛好家の方がワインをケース買いますので、2台目、3台目をというニーズもありますし、ビギナー・ユーザーの方が入門機として小型のものをというご要望も。ご家庭だと、置き場所がよりシビアに問われますね。

岩田 なるほど。私自身は家に帰ると、ソムリエのソの字もないくらい、グラスも温度もいっさい気にしません(笑)。好きな食事と好きなワインがあれば幸せ。ただ、自宅にセラーがあれば、それだけで優雅な気持ちになりますよね。

近藤 ワインを開けようかという時にセラーがあると、ワインを選ぶという楽しみも増えますね。

貯蔵温度と飲みごろ温度は違う？
2温度タイプセラーも視野に

諸澤 今回、家庭用ワインセラー『ホームセラー』より新たに4機種が同時発売になりました。とくに2温度タイプワインセラー『FJH-108GD(BK)』に関して言うと、ワインの貯蔵温度と飲みごろ温度は明確に違うということを知っていただきたいのです。白やスパークリングはつねに冷やした状態しておかなくてはいけないと思われがち。しかしヨーロッパ諸国のワイナリーでも、赤も白も同じカーヴにあるように、貯蔵温度はいずれも12℃〜15℃が適温。飲む段階でタイプ別に温度調整すれば良いのです。

近藤 実際フルボディの赤ワインは飲みごろ温度は貯蔵温度よりももっと高い。プレステイジ・ジャンパー・ニュもキンキンは良くないですね。岩田 夏場なら、白ワインでも飲みごろ温度は8℃以下くらいがいい。諸澤 セラーを開けてすぐに飲みごろ温度で飲みたいという方のために、2温度タイプの需要は増えています。1温度タイプと2温度タイプの機種を、必要に応じて選んでいただきたいと思っています。

あなただけの“至福の時間”
自分好みのワインが飲める愉しさを

HomeCellar®



新設計スライドラックの採用により、ワイヤーラックからワインボトルを取り出しやすくなった

ココに注目!!



左から、小型1温度タイプセラー『FJH-67GS(BK)』(w400×d526×h685mm、18本収納)、スリム型1温度タイプセラー『FJH-107GS(BK)』(w400×d526×h1205mm、37本収納)、セパレートツイン冷却器を搭載した2温度タイプセラー『FJH-108GD(BK)』(w400×d526×h1205mm、34本収納)、新サイズの1温度タイプセラー『FJH-127GS(BK)』(w495×d592×h848mm、50本収納)。各オープン価格